

# 平成 20 年度宮前区区民会議企画部会(第 3 回)

平成 20 年 11 月 7 日(金) 18 時～20 時

宮前区役所 4 階第 2 会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について
- (2) 各部会の審議状況について
  - ア 公園・地域づくり部会
  - イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会
- (3) 第 3 回宮前区区民会議の議事について
- (4) 区民会議フォーラムについて

### 3 報 告

平成 21 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決事業（案）について

### 4 その他

#### 《配布資料》

- 資料 1 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況
- 資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過
- 資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
- 資料 4 平成 20 年度第 3 回宮前区区民会議 次第（案）
- 資料 5 平成 21 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決事業（案）

## 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

※ 前回区民会議（8/6）から新たに進捗等のあったものについてのみ記載してあります。

## ■高齢者福祉（18 年度提案）

**提案①「ご近所サークルの形成」**

- ★ 神木本町自治会で、11 月以降「神木本町お茶のみ会」を開催することが決定  
日時：毎月第 3 水曜日 10 時～11 時 30 分/場所：フレンド神木 1 階 フレンドリースペース
- ★ 9 月 25 日に区内の 8 団体が「すこやか連絡会」を開催し、活動の交流と例年開催している「合同研修会」の検討を実施  
【平成 20 年度合同研修会概要】  
テーマ：「地域を守るネットワークづくり」（仮称）/日程：平成 21 年 1 月 26 日（予定）

**提案②「地域ぐるみの散歩活動などの実施」**

- ★ 犬蔵地区で体操の実施希望があり、地域包括支援センターと保健福祉センターが協力依頼を受けている

**提案④「高齢者の学校給食体験の実施」**

- ★ 8 月末から 65 歳以上の方に対して暮らしの「元気度チェック」を郵送  
返送を待って、今後、特定高齢者を把握し介護予防事業につなげていく予定

**提案⑥「団塊の世代による高齢者福祉のサポート」**

- ★ 区民祭（10/19）でよろずシニア本舗の出張相談を実施
- ★ 向丘出張所で、よろずシニア本舗の出張相談を実施することを決定（11/26～12/24 の水曜日午前中）

**提案⑨「市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り」**

- ★ ひとり暮らし等高齢者の見守り事業の調査  
9 月から 11 月に、75 歳以上の人だけで暮らしている世帯で介護保険サービスを受けていない人を対象に、生活状況などについて民生委員に依頼して聞き取り調査を実施。宮前区での調査数は約 4,000 名

## ■地域コミュニティ（19 年度提案）

**提案①「小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティ促進」**

- ★ さぎ沼商店会との協働によるオリジナルエコバッグ教室・コンテスト
  - ・ 9/19（金）、9/27（土）、10/3（金）、10/11（土）、11/8（土）の 5 回実施
  - ・ 申込者：65 名（のべ 70 名）
  - ・ 11/14～11/28 まで、さぎ沼とうきゅうで作品展示・人気投票を実施。11/29 のカップパーク鷺沼秋まつりで表彰
- ★ 地域安全マップづくり  
西有馬小学校（11/29）、平小学校（12/3、12/12）で実施予定

**提案②「『地域のたまり場』の創出」**

- ★ 平成 21 年度の区課題事業「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」において、商店街における地域のたまり場を創出する方向で調整中
- ★ 神木本町お茶のみ会の開催

**提案③「『地域のつなぎ手』の育成」**

- ★ シニア世代を対象とした「地域コーディネートを学ぶ講座」を 1 月～3 月に実施することに決定

## ■子育て支援（18 年度提案）

**提案②「町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信」**

- ★ 「子育てかわら版」を 12 月に配布予定

**提案④「赤ちゃん広場の拡充」**

- ★ 宮前第 4 地区民生委員・児童委員協議会では、子育て支援の場として区社会福祉協議会及び区役所の支援のもと、「すくすくけやき平」を 9 月から開設  
対象：けやき平・神木地区/場所：グリーンハイツ集会所/日時：毎月第 1 水曜 10:00～11:30

**提案⑤「子育て支援センターの拡充」**

- ★ 土曜日開所（地域子育て支援センターすがお、さぎぬま）を実施し、大人 197 人（うち父親 60 人）、子ども 166 人の参加があった（9/27 開催）

**提案⑧「子育て関連支援組織による協議会（ネットワーク）の立上げと運営」**

- ★ 8 月 20 日と 10 月 8 日に実務者会議を、9 月 6 日に代表者会議を開催し、現在の取組や課題等について意見交換を実施

**提案⑨「地域などへの出前講座の実施」**

- ★ 平成 20 年度「親子の子育て応援セミナー」を 5 回実施（9/4、9/26、10/16、10/25、11/6）

## ■地域防災（19 年度提案）

**提案①「（仮称）宮前区版『みんなでやろう防災対策』の作成」**

- ★ まちづくり協議会で発行した防災ニュース（31 号）をベースとして、まちづくり協議会と協働で編集し、8/28 に「季刊 防災ニュース 第 1 号」を発行。各町内会・自治会等に回覧を依頼（以後 4 半期ごとに発行予定）
- ★ 防災対策資料については、12 月を目途に作成し、防災フェア等で配布を行う予定
- ★ 防災フェアをまちづくり協議会と現在調整中
  - ・ 対象：自主防災組織をはじめ、広く区民を対象
  - ・ 実施時期：平成 21 年 1 月の「防災とボランティアの週間」にあわせ、1 月 20 日実施予定
  - ・ 実施内容：家屋の耐震化の促進、家具等の転倒防止器具や防災資機材の展示・紹介、市民救命士講習、防災講習など
  - ・ 実施場所：宮前市民館等
- ★ 防犯、防災、交通安全などの情報の区ホームページへの掲載を 10 月から実施

**提案②「防災出前講座の拡充」**

- ★ カンガルー子育てネットワークに依頼し、「カンガルー通信 9 月号」に「災害に備える」と題して、防災出前講座に関する記事を掲載
- ★ 赤ちゃん広場（6 箇所）、保育園長会、子ども安全安心協議会等での防災出前講座の広報

**提案③「（仮称）宮前区防災推進員の育成」**

- ★ 当初 10 月からの 3 回の研修を実施する予定であったが、実施が延びている。現在、研修を委託予定の研究所と研修内容、実施日について調整を行っている。平成 20 年 12 月までに要綱、研修項目、実施方法等の決定等を行った後、自主防災組織から対象者の推薦をもらい年度内に 2 日程度の研修を実施予定

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会  
検討経過（8～10月）

資料 2-1

区民会議  
全体会

平成20年  
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年  
9月12日

公園や地域コミュニティに関する現状について  
理想とする公園像について

■「公園・地域に関する現状」をこれまでの議論を踏まえて整理【配布資料】

・今後議論を進めていく中で、変更や追加がありうることを確認

・議論ペーパー  
・公園の良い点・悪い点一覧表

■理想とする公園像（①望ましい施設、②維持管理のあり方、③地域での使われ方 の観点から議論）

①望ましい施設

・トイシ、ベンチ、看板、時計、砂場などが「望ましい施設」として例示されたが、地域のニーズや実情によってその必要性が変わるため、区民会議としてその設置自体を提案することはしない

②維持管理のあり方

・市だけが管理するもの、公園緑地管理運営協議会も管理しているもの、公園緑地愛護会が除草清掃活動を行っているものなど様々な管理形態があり、何が理想かはさらに検討が必要

③地域での使われ方

・各種体操や地域お祭りなど、多様な使い方がされている

➡「理想とする公園像」をより具体的に検討するために、次回は、参考となる公園の管理者、利用者からヒアリングを実施

第4回部会

平成20年  
10月10日

公園での活動に関する取組事例について  
（鷺ヶ峰公園管理運営協議会/つくし野「公園あそび応援隊」）

■鷺ヶ峰公園管理運営協議会

・自治会と老人会で組織。  
・これまでの主な活動内容は、除草清掃/花壇づくり/落書き消し/餅つき大会など  
・メンバーの固定化・高齢化が課題

【配布資料】

・公園・地域づくり部会  
（第3回）議論のまとめ  
・議論ペーパー

■つくし野「公園あそび応援隊」（町田市）

・自治会としての活動ではなく、近隣住民の有志による活動。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人・やれる人が関わっていることが継続できているポイント  
・これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操/防犯パトロール/公園見守りなど  
・防犯パトロールや公園見守りは、学校と連携して実施。保護者も活動に積極的に参加

第5回部会

平成20年  
10月27日

理想とする公園像について  
解決すべき課題について

議論ペーパーに基づき、理想とする公園像、解決すべき課題について検討

■理想とする公園像

別紙 議論ペーパーのとおり

■解決すべき課題

別紙 議論ペーパーのとおり

■具体的な課題解決策（イメージ）

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立（既存組織の刷新）、公園からのまちづくりの必要性のアピールなど

【配布資料】

・公園・地域づくり部会  
（第4回）議論のまとめ  
・議論ペーパー

# 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（5月～7月）

区民会議 平成20年 高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる  
 全体会 5月23日 「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定  
 6月16日 具体的な審議テーマについて  
 宮前区の公園緑地の現状と課題について

## ■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

### ■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

### 【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

### ■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針  
 →公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱いているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会 平成20年 第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について  
 7月7日 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

### ■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかに地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

### 【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

### ■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

#### 【進め方】

審議の目的を共有



現状と課題の把握



課題の原因分析



課題解決策の審議

### ■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告  
 →今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す  
 →理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方を議論する

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。

全体会での意見など

公園・地域に関する現状

◆地域コミュニティなどに関する現状と取組  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。  
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している  
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。  
うち、公園緑地管理運営協議会：51  
公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンスペースであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場合がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆望ましい施設

トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる。

◆地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができています

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆維持管理について

維持管理活動に関わる人の固定化・高齢化⇒分散化の必要性

◆公園利用について

利用者のマナー(ごみ・たばこ・ペットなど)向上

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の認知度が低い

子育てがひと段落した世代や中高生が公園に行く機会が少ない

公園の社会的、コミュニティ的価値に関する情報発信が不十分

具体的な課題解決策

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過  
(8月～10月)

区民会議 平成20年 7月までの審議状況を報告  
全体会 8月6日

第3回部会 平成20年 宮前区の宝・顔に関する現状と取組について  
9月22日 宝や顔があるまちのイメージについて

### ■宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要である

現状について議論する中で、宝物となりうる資源の分類・整理の必要性について議論された

- ・大分類としては、4～5分類くらいに分けられると良い
- ・これからつくりあげていくもの、すでにあるもの
- ・ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

【配布資料】  
・議論ペーパー

### ■地域の資源はどうなったら「宝物」や「顔」と言えるのか？

- ・宝物になるということと、顔になることの意味は少し違う
- ・宝物は秘伝・秘密の物や潜在的な物もあるが、顔は外から見ても明らかな存在
- ・より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」である
- ・顔はいくつもあってはおかしい。顔というところ程度絞り込まれる
- ・宝物を顔に「押し上げていく」のではない
- ・顔には戦略が入っている

第4回部会 平成20年 課題解決策に向けた進め方について  
10月24日 地域の資源について

### ■資源の性質別の分類

資源の性質別の分類として次の5項目を選定

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| ① 自然      | 風景・緑・水・生物・植物など      |
| ② 歴史文化    | 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など    |
| ③ 暮らし・産業  | 産物・農業・工業など          |
| ④ ふれあい・交流 | イベント・スポーツ・市民活動など    |
| ⑤ まち・施設   | 商店街、ランドマーク、建築物、施設など |

【配布資料】

- ・宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料
- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）

### ■資源を「楽しむ」という視点での分類

資源の価値を評価する指標として次の3項目を選定

- ① 見(観)たい・聞(聴)きたい
- ② 買いたい・食べたい
- ③ やってみたい

### ■具体的な課題解決策イメージ

- ・資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

# 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過 (5月～7月)

区民会議 平成20年 文化・観光、緑、産業、まちづくりパワーなど様々な課題を包含する  
全体会 5月23日 宮前区らしさ(=宮前区の顔)を審議テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定  
6月23日 具体的な審議テーマについて

## ■部会名称は「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～部会」に決定

- ・部会名称決定に先立って行われた、フリートーキングで出された「再発見」「ときめき」「宝物」「地域」などのキーワードをもとに、協議の結果「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～」を部会名称として決定した。

## ■具体的な審議テーマについて

- ・各委員の考える或いは知っている宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施  
⇒出された意見は、次の項目に分類
- ①なぜ「顔」や「宝さがし」が必要なのか？
- ②なぜ宮前区には「顔」といえるようなものがないのか？
- ③どうなれば、それが宮前区の「顔」「宝物」と言えるか？
- ④どんなものが宮前区の「顔」や「宝物」となりうるか？
- ⑤課題解決策提案の上で鍵になりそうなこと
- ⑥参考になりそうな事例や他地域の話題

### 【配布資料】

- ・宮前区の『顔』 検討対象絞込みのためのメモ
- ・宮前区の『顔』づくりに関する委員意見・提案
- ・宮前区観光資源一覧

第2回部会 平成20年 今後の審議の進め方について  
7月15日 宮前区の宝をさがす目的について  
宮前区のイメージについて

## ■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・結果的に公園・地域づくり部会と同様の進め方となった  
(任期2年間を通して審議していく)

## ■宮前区の宝をさがす目的

- ・宮前区の宝を探すこと目的(宝や顔があることによるメリット、宝や顔を持つことで最終的に目指すもの)について意見交換  
⇒具体的な結論には至らなかったが、次のようなキーワードが出された  
共有意識・コミュニケーション・まちへの愛着・より良いまちにしていこうという意欲・目に見える宝物と見えない宝物(風土) etc...など

### 【配布資料】

- ・宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～の審議の進め方について
- ・議論ペーパー(白紙)
- ・宮前区の宝をさがす目的を確認するための議論用メモ
- ・現在の宮前区の成り立ちと開発等との関係について
- ・ホームページや雑誌等の紹介にみる「宮前区」
- ・川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート(抜粋)
- ・宮前区の地域資源一覧

## ■内外から見た宮前区のイメージ ～「宝」をさがすための1つの手がかりとして～

- ・現在の宮前区がどういった経緯でまちづくりが行われてきたのか、「多摩田園都市構想」の概略を共有  
⇒特に宮前地区については、特定の会社の戦略のもと「良好な住宅地」という一定のイメージのまちづくりが行われてきた
- ・雑誌やホームページでの宮前区の紹介のされ方をみると、「住環境がよい」という評価がある反面、これといった目玉施設がないため紹介も少ないという現状
- ・宮前区に住んでいる人が宮前区をどのようにイメージしているかという調査では、「自然が豊か」という回答が最も多かったが、それでも麻生区や多摩区に比べれば少ない割合であった。また、「特にない」と回答した割合が7区の中で最も多かったのが特徴的(資料3-2参照)

⇒こうした宮前区のイメージ(実態と合っているかどうかは別として)も踏まえながら、今後の議論を進めていく(現在の審議段階:現状と課題の把握)

## 宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料

### 【前提】～これまでの議論を踏まえて～

- ・ 前回部会（9/22 開催）で、一度宮前区の宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要ということ  
で合意した。
- ・ また、「提案を行う上では、ある程度宝物としての対象を絞り込んでいく必要があるのではないか」  
との意見も出た。

### 【宝物の分類……他区の事例】

- ・ 高津区：「高津のももちゃん」

2004年に市民参加の委員会により百の資源を選出。HP上で公開。冊子も作成。

- ① 風景…… 緑地、農地、水、樹木、道、橋、建築物、夜景など
- ② 暮らし…… イベント、商業施設、商店、名産品、施設など
- ③ 活動…… 市民活動団体、道場や塾、伝統工芸など
- ④ 歴史…… 歴史人物、寺社仏閣、史跡、石碑など

- ・ 川崎区：「川崎区の宝物」168点。HP上で公開。冊子も作成。

- ① ものづくり
- ② 味づくり
- ③ 現代の文化的なもの
- ④ 歴史的なもの
- ⑤ イベント・祭り
- ⑥ にぎわい
- ⑦ 港めぐり
- ⑧ 人物

※ これまでに168点の「宝物」を発掘。1つ1つにつき、宝物シートを作成し、公開。

※ 「宝物定義」として上記の8分類。2つ以上にチェックされている資源も多い。

### 【宝物の分類……宮前区の場合の意見】

- ・ 大分類としては、4～5分類くらいに分けられると良いのではないかと。
- ・ これからつくりあげていくもの、すでにあるもの。
- ・ ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・ 観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

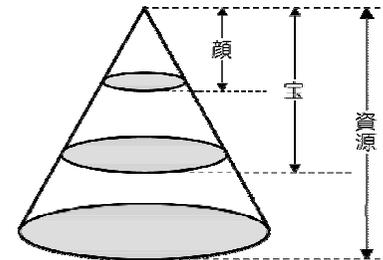
### 【宝物の分類……宮前区案】

- ・ 大分類→中分類の案
  - ① 自然…… 風景・緑・水・生物・植物など
  - ② 歴史文化…… 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など
  - ③ 暮らし・産業…… 産物・農業・工業など
  - ④ ふれあい・交流…… イベント・スポーツ・市民活動など
  - ⑤ まち・施設…… 商店街・ランドマーク、建築物、施設など
- ・ 「楽しむ方法」として見(観)たい・聞(聴)きたい/買いたい・食べたい/やってみたいを  
加えてチェックする。

### 【どうなったら「宝物」や「顔」と言えるのか？】

- ・ 宝物になるということと、顔になることの意味は少し違うのではないかと。
- ・ 宝物は秘伝・秘密の物や潜在的な物もあるが、顔は外から見ても明らかでなければならない。  
より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」なのではないかと。
- ・ 顔はいくつもあってはおかしい。顔というところまで絞込まれる。
- ・ 宝物を顔に「押し上げていく」のではないかと。
- ・ 顔には戦略が入っている。

### ＜資源～宝物～顔の関係イメージ＞



### 【その他、宝物や顔への「押し上げ」に関する意見】

- ・ 宝物（顔）づくりを宮前区を活性化させる運動と捉える。
- ・ 子どもを巻き込む戦略性、子どもにもわかりやすい楽しさの演出が必要だ。
- ・ 宝探しが子育てやいやし、福祉などにもつながると良い。
- ・ 宝物の整理は他区でもこれまで行われてきたが、単発に終わっている傾向があるのではないかと。  
単発に終わらせないためには、単なる紹介に終わるのではなく、発掘やプロデュースのプロセス  
を区民が共有することが大切である。
- ・ 郷土愛を育て、終の棲家となるように、定住率が上がるようにしたい。
- ・ 資源のつながりがわかるようなガイドブックがあると良い。

### 【課題解決策のイメージ（案）】

- ・ 資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・ 宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を総合的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。

目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。

◆宮前区に対する内外のイメージ

閑静で自然豊かな良好な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないか。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。

→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる

地域に愛着を持っている（終の棲家とする）

地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

◆地域社会にとって・・・

地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。

PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

課題解決策イメージ

資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス

宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

現状の資源の把握

具体的な課題解決策

## 平成 20 年度宮前区区民会議（第 3 回）（案）

平成 20 年 11 月 19 日(水) 18 時 00 分～20 時 30 分

向丘出張所 2 階 大会議室

## 次 第

## 1 開 会

## 2 議 事

(1) 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について

(2) 各部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

(3) 区民会議フォーラムについて

## 3 報 告

平成 21 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決事業（案）について

## 4 その他

## 配布資料

資料 1 宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

資料 4 平成 21 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び宮前区・区の課題解決事業（案）

## 平成21年度宮前区協働推進事業計画(案)

## 1 安全で快適に暮らすまちづくり

◎：新規事業、○：拡充事業

(1)		安全安心まちづくり推進事業	「自分たちの街は自分たちで守る」という考え方を基本に、「防犯」「交通安全」「防災」の各分野において自助、共助活動をサポートし、安全安心なまちづくりへ向けた区民活動を推進する。	地域振興課
(2)		区境・市境を越えた安全・安心まちづくり推進事業	区境・市境において区民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するために、高津区、青葉区、都築区などと情報交換を行うとともに、地域防犯パトロールなどを支援する	地域振興課
(3)	○	子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	登下校時に子どもを犯罪から守り、地域の安全を確保するために、宮前区子ども安全安心協議会の運営のほか、地域安全マップの作成、講演会の開催、情報共有を図るため通信を発行する	こども支援室
(4)		防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	大規模災害に備え区民の防災意識の向上を図るために、防災フェアの開催、防災ニュースの発行、防災推進員の養成などを行う	地域振興課
(5)	◎	ねずみ、昆虫等駆除対策支援事業	感染症予防等の観点から、区民が感症媒介昆虫等の駆除、防除に心がけられるよう、リーフレットを作成し、知識の普及、啓発、支援を行う	衛生課

## 2 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

(1)	○	高齢者健康づくり支援事業 (区民会議課題)	介護予防、健康増進などのため、地域住民が主体的となった体操グループなどを支援するとともに、区内全域に活動がひろがるよう体操マップを作成する	地域保健福祉課
-----	---	--------------------------	---	---------

## 3 人を育て心を育むまちづくり

(1)	○	子育て支援事業 (区民会議課題)	子育てガイド「とことこ」を改訂するとともに、子育て情報誌の発行や乳幼児のいる転入世帯等に対する子育て支援に関わる情報を一体的に提供する	保健福祉サービス課
(2)	○	親と子の子育て応援セミナー事業 (区民会議課題)	親の子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人材育成を図るため、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、セミナーを開催する	こども支援室
(3)		子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図るため、子ども支援ネットワーク会議のほか、事例検討会、研修会、虐待予防のための講演会を開催する	こども支援室
(4)	◎	こども包括支援事業	南野川小学校附属幼稚園跡を利用して、いじめ及び不登校の子どもの居場所づくり、家庭相談員、教育相談員による出前相談のほか、子育てサロンの開催などの育児支援を行う。	こども支援室
(5)	◎	親子ふれあい事業	思春期をもつ親を対象に子どもとのより良い関係づくりのための講演会を開催し、また、地域で親子がふれあう機会を増やせるイベントを実施する	こども支援室
(6)		シニアライフ支援事業 (区民会議課題)	シニア世代の人生設計や生きがいづくりをサポートするとともに、その活力を地域で活かすために、相談窓口を開設し、講演会や出前講座などを実施する	企画課

#### 4 環境を守り自然と調和したまちづくり

(1)	東名川崎インターチェンジ周辺整備推進事業	川崎のイメージアップにつなげるために、地元で立ち上げた団体と協働し、東名川崎インターチェンジ周辺を川崎の北の玄関口としふさわしい景観となるよう整備する	地域振興課
-----	----------------------	---	-------

#### 5 個性と魅力が輝くまちづくり

(1)	みやまえロビーコンサート	区民に親しまれる区役所をめざして、を区役所2階ロビーで月1回、質の高い様々なジャンルの音楽を提供するコンサートを行う	地域振興課
(2)	みやまえ太鼓ミーティング	地域の文化・伝統を再認識し、個性豊かで魅力ある文化の創造をめざして、区内に数多く残る民俗芸能や和太鼓の演奏を行う	地域振興課
(3)	みやまえ新春コンサート	区内を中心に音楽活動をしている個人や団体の自主的な参加によるコンサートを開催する	地域振興課
(4)	しあわせを呼ぶコンサート	音楽を通じ、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら区民の心のバリアフリーをめざすとともに、障害者の社会参加と自立を促すため、コンサートを実施する	地域振興課
(5)	○ 地域の魅力発信事業	地元に対する愛着の醸成や来訪者の増加を図り地域の活性化を図るため、地域を知ってもらうイベントの実施や地域情報の収集及び地域の魅力発信を行なう	地域振興課
(6)	◎ みやまえ映像コンクール支援事業	中学生が地域を知り、馴染む機会を確保しつつ、「映像のまち かわさき」を推進するため、市民活動団体が中学生を対象に実施している映像コンクールを支援する	企画課
(7)	○ 友好都市交流事業	宮前区観光協会と協働し、友好都市長野県佐久市との物産・観光交流や市民間交流などの交流事業を行う	地域振興課

#### 6 参加と協働による市民自治のまちづくり

(1)	まちづくり推進事業	魅力あるまちづくりを推進するため、中間支援組織をめざしているまちづくり協議会と協働し、地域の市民活動団体への支援等に取り組む	地域振興課
(2)	まちづくり支援事業	中間支援組織をめざすまちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営と区民のまちづくり活動に対する支援を行う	地域振興課
(3)	みやまえふれあいフェスタ	地域や世代間の交流を図り、地域コミュニティの創造や育成のきっかけとするために、ふれあいを重視した体験型企画及び出店を重視した催しを実施する	地域振興課
(4)	みやまえスポーツふえすていばる	スポーツを通じた区民同士の交流と健康増進を図るために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域スポーツの活性化を図る	地域振興課
(5)	◎ 宮前歴史ガイド作成事業	区内の市民活動団体と協働で、まちの歴史や区内に残る豊富な歴史的な地域資源などを紹介する歴史ガイドを作成する	地域振興課

(6)	カッパーク鷺沼地域交流・活性化促進事業	地域の豊富な資源の活用や地域の協力を得て、保育園児、小中学生、青少年、高齢者など、様々な世代の交流を図り、地域の活性化をめざす	企画課
(7)	○ 地域情報発信事業 (区民会議課題)	世代間・地域間交流の活性化のために、地域のスポーツや祭りなどの情報をイベントカレンダーとして広く発信する。区役所等から個々に送付していた町内会・自治会への回覧物を毎月1回一括して送付することで、地域情報の発信を効果的・効率的に行う	企画課
(8)	地域の課題解決に向けた事業提案制度	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議から提案された課題の解決等に取り組む団体等を適宜募集し、委託、事業補助などの手法で事業を実施する	企画課
(9)	宮前区役所事業概要発行事業	区民に対して区の施策や情報をわかりやすく発信し、情報共有を図るために、区役所の事業や予算の概要をまとめた冊子を発行する	企画課
(10)	宮前ガイドマップ作成事業	ガイドマップを修正し発行する（毎年度増刷・情報更新）	地域振興課
(11)	宮前区役所BGM配信事業	庁舎の雰囲気を明るくし、来庁者に親しまれる区役所をめざし、庁舎内にBGMを流す	総務課
(12)	バリアフリー推進事業	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場のスロープ部分のタイルをノンスリップ化する	総務課

## 7 その他

(1)	管理運営費	協働推進事業の一般管理費	
(2)	緊急対応費	緊急的な事業に対応するための経費	

## 平成21年度宮前区・区の課題解決事業(案)

1	川崎の北の玄関口周辺の再構築	(仮称) 藤子・F・不二雄ミュージアムを含めた生田緑地までの統一的な看板サイン表示の基本設計等
2	商店街と連携した地域コミュニティ促進事業	商店街における地域のたまり場の創出と、商店街の魅力を広く周知するためのマップづくり